

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせませす。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 今週号は面建てを変更しています
- 2~3面 憲法リーフ
- 4~5面 ゲノム編集の食品問題/新・女性 働く
- 6面 食事情/子育て/時事
- 7面 読者のページ/母の歴史/乱楽パズル



三重・松阪市 内田圭子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

リーフの表紙



戦争か平和か

“新婦人の憲法リーフ”でいま対話・署名を!

新日本婦人の会は創立60年の今年、会の総力をあげて改憲を阻止しようと、憲法リーフレット「日本国憲法ってすごい」を100万部作製しました。2・3面に掲載しましたので、4面の対話と合わせて、みんなで読み合い、おしゃべりや学習、対話に活用しませんか。

9条による平和外交こそ

ロシアのウクライナ侵略で多数の民間人が虐殺されたことが明らかになり、戦争犯罪として、ロシアの責任追及と法による裁きを求める国際世論が高まっています。

この機に乗じ、自民党や日本維新の会などはロシアや中国・北朝鮮の脅威をあげ、憲法9条改悪や敵基地攻撃能力の保有、軍備大増強、「核共有」などに言及。衆議院の憲法審査会で「緊急事態条項」の集中審議をおこなうなど改憲への危険な動きをつよめています。

疑問や不安を持つ人も

いま日本が果たすべき役割は、9条にもとづく平和外交をすすめることであり、唯一の戦争被爆国としてただちに核兵器禁止条約に参加し、世界をリードすることです。

新婦人の憲法リーフが届いたところでは「日本国憲法ってすごい」のタイトルがいい! 「いま9条を語っていきたい」など好評です。憲法リーフを活用した署名宣伝行動では、「9条を守るだけで国民のいのちを守るの?」と問いかけてきた人も対話に。自民党支持という女性が

ウクライナ支援募金 国連UNHCR、ユニセフへ届ける



全国から寄せられたウクライナ支援募金の第一次分600万円を、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)とユニセフに届けました。7日、米山淳子会長と牧祐子中央常任委員は国連UNHCR協会の中村恵事務局特命に(写真上)、8日には高杉しゅん事務局長と平野恵美子副会長が日本ユニセフ協会の海老原隆一団長・企業事業部長に(写真下)、それぞれ300万円の目録を手渡し、懇談しました。

女性ニュース

2022. 4. 16

「反戦デモ」を敵視

防衛省陸上幕僚監部が安保法制(戦争法)の発動事態の一つである「グレーゾーン事態(武力攻撃に至らない段階で、自らの主張を受け入れるよう相手に強要するもの)」の事例として「反戦デモ」や「報道」をあげて敵視する資料を作成。1年間の保存期間を守らず即時廃棄・隠ぺいしていたことが発覚。松野博一官房長官は当初「誤解を招く表現だった」と述べるにとどめていたが、6日、一転して「不適切」と認めた。新婦人は6日、岸田首相、岸防衛相あてに隠ぺいに抗議し、国会での真相究明を求める抗議文を提出した。

海洋放出「断固反対」

秋生田経産相は5日、全国漁業協同組合の岸会長と会談し、東京電力福島

第一原発から出る放射性物質トリチウムを含む処理水(汚染水)の海洋投棄について、漁業継続へ超大型基金創設などを提示。全漁連側は「国民、漁業者の理解を得られない海洋放出は断固反対」と述べた。

排出量削減 急速かつ大幅に

国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は5日、第3作業部会の報告書を8年ぶりに公表した。報告書は、昨年の国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)で産業革命前からの世界の平均気温上昇を1.5度にとどめることが合意されたが、すでに1.1度上昇していると報告。人為的な温室効果ガスは2010年から2019年の10年間も増加し続けており、遅くとも2025年までに減少に転じるよう、すべての部門で「急速かつ大幅、即時」の排出削減が必要と強調した。

「自民党が9条を変えようとしているなんて知らなかった。ぜったいに変えてはダメ」と署名しています。憲法リーフを班会や小组、憲法カフェなどで読み合っておしゃべりし、戦争反対の行動とともに、いま全国でとりくんでいる「平和の2署名」(憲法改悪を許さない全

